

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	西村 哲範	法人・事業所の特徴	「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」を理念に、ご利用者様には住み慣れた地域で過ごして頂けるよう、通い、泊り、訪問を柔軟に組み合わせたサービスを提供しています。 尊厳を護り、自立を支援し、在宅支援を大切にし法人理念「その人らしく 気持ちよく生きる」を実現出来るよう支援させていただきます。
事業所名	小規模多機能ホームさろお	管理者	安友 由実		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2 人	人	人	1 人	1 人	1 人	人	5 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	なし	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	なし	なし
C. 事業所と地域のかかわり	2024 年もさろおマルシェ開催予定 より多くの地域の方々に足を運んで頂き知って頂く。	さろおマルシェの開催予定時期に人事異動等があり、開催時期も延長となった。	地域の行事やイベントの情報を共有していきたい。出来る限り参加し、地域交流していきたい。	さろおマルシェなどのイベントを開催することによって、事業所に入るきっかけを作れるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし	なし	近所の方の心配な方にどう関わっていますか。外出等でできていなかったのも、今後は散歩等で近所への交流を図っていきたい。	パンフレットや事業所のチラシを作成し、地域の方に知って頂く。事業所でのイベントだけでなく、地域のイベントにも参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で頂いた意見があれば事業所職員にも会議で報告し共有していく。	部会等で事業所職員への報告、情報の共有を行えた。	常勤スタッフから、事業所内での 10 ケアの取り組みについて写真を使って説明、知ってもらうことが出来た。	なし
F. 事業所の防災・災害対策	年 2 回の防災訓練の実施（地震・豪雨等も想定した避難訓練の実施）	3 月と 9 月に避難訓練と消火器訓練を行った。	なし	年 2 回の防災訓練の実施の継続と BCP 訓練の周知、報告。

法人名	姫路医療生活協同組合
事業所名	小規模多機能ホームさろお

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 1 月 28 日 (17:00~18:25)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	4 人	人	13 人

前回の改善計画	他のスタッフとの共有をする。 余裕を持って情報を整理、把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	よくできている・なんとかできている : 69.2% あまりできていない・ほとんどできていない : 30.8%

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11	2		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	3		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	6		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時などご家族がおられる家ではご家族にも声掛けを行っている。ヘルパー時はメモを残したりしている。聞く姿勢を大切にし家族の思いに沿って支援している。訪問時には笑顔を忘れないようにしている。ミーティングや管理日誌に記入することを通じて情報共有している。入院中で再開する際にはサマリーやケアマネからの情報を通じて理解しようとしている。利用者に傾聴、寄り添うように心掛けている。新規の利用者へ積極的に関わるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族とのコミュニケーションがあまり図れていなかった。自分に余裕がなく最低限の挨拶で終わってしまっている。直接対面し話をする機会が少なかった。あまり利用者一人ひとりと会話ができていない。業務優先になっている。自分自身に余裕がなかったから。初回の利用時に不安に対する声掛けが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご家族様とお会いした際に挨拶だけではなく施設であった出来事等伝えご家族様とのコミュニケーションを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
-----	-----------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	6 人
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4 人	8 人	1 人	13 人

前回の改善計画	
時間の余裕を持って 1 人ひとりに対してゆっくり向き合う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
よくできている・なんとかできている : 30.8% あまりできていない・ほとんどできていない : 69.2%	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？		4	7	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5	6	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	6	2	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		4	6	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
部会で話し合いをし、振り返り次の対応をしていくようにしている。申し送りで引き継いだ内容を正確に把握し、寄り添った対応が出来た。今必要とされている目標、歩行や身体を動かす等声掛けを行っている。1 人ひとりに対してゆっくり向き合うことは出来たように思う。 アセスメントしたことをケアプランに落とし込んでいる。帰宅願望の強い利用者に対し、否定せず傾聴するように心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
業務に追われてしまっている。効率が悪い。カルテを読み切れていない。 ミーティングで発言出来ていない。自分が主体となって発信することが苦手。 振り返りの大切さを認識できていない。意識が足りなかった。 目標の把握が出来ていない。部会に参加出来ていないので、すべての情報をキャッチ出来ていないことがある。訪問時ヘルパー内容をバタバタとして退出してしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
申し送りで引き継いだ内容を正確に把握し共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
3. 日常生活の支援	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	5 人	人	13 人

前回の改善計画	
仕事優先にならず、深い話を聞く姿勢を持つ。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
よくできている・なんとかできている : 61.5% あまりできていない・ほとんどできていない : 38.5%	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？			9	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	11		1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7	3	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	9	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	11		1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時にご家族に様子を聞いたり、記録を読み込む。利用者の会話に耳を傾けている。 不安のある利用者に対し傾聴しようとする姿勢を取るように心掛けている。 気持ちに寄り添い気持ちや体調の変化に気付けるようにしていた。 変化があれば報告・相談するようにしている。部会等で話し合い共有出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
仕事に追われると傾聴出来ない時がある。「以前の暮らし方」についてはあまり把握出来ない。アセスメント不足。現在ばかりに目を向けていたから。話せない、話したくない利用者に対して出来ない。カルテを読み込むことが出来ない。業務で余裕がないと仕事優先になる場合がある。 入浴介助において本人が出来る事をしてしまっていることがある。時間がかかるので職員の都合で動いてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人様が出来る事を把握し、やり過ぎない介護(支援)を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画	ご本人の家族構成を把握し、ご家族や本人からお聞き出来る事は聞き取り情報共有を行っていく。 地域の資源を理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果	よくできている・なんとかできている : 83% あまりできていない・ほとんどできていない : 17%

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	8	3	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	5	4	3	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7	5	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	7	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 送迎時などご家族に接する際は自宅での様子を伺っている。他スタッフにも伝えている。 利用者との会話の中で聞き取れる場合は理解出来ている。 ご家族に出来るだけ本人の様子を話すようにしている。 なるべく大きな声で挨拶をするように心掛けている (近所の方にも)
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業所が接していない時間をどのように過ごしているか、また家族からは聞けていない。自宅での過ごし方を深く理解しようとしていないから。全ての利用者対しては出来ていない。ご家族と関わる事が少ないため。ゆっくりと関わり聞き取る時間がない。 民生委員や地域の資源の把握。自分が知らないことがあるので自分からの提案が出来ない。 地域との連携。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 本人様自宅での過ごし方を深く理解しようとし、家族様とお会いした時に自宅での様子を伺うようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	2 人	8 人	2 人	13 人

前回の改善計画	お一人おひとりの情報に今の状態を照らし合わせながら、地域の資源も利用しながら生活を支える事を職員が共有し、提案や理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	よくできている・なんとかできている : 23.1% あまりできていない・ほとんどできていない : 76.9%

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	2	5	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	8	2		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	8	2		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	6	3		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の利用者の変化がある時、ケアマネや所長に相談し対応出来ている。部会等で共有と柔軟な対応は出来ている。 食事形態など硬いものは一口サイズにカットしたり、体調に合わせて食事を提供している。 各利用者に合ったサービスの提供。一人暮らしの方には訪問や買い物支援等出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の利用。地域資源についての理解。具体的にどのようにしたらいいか分からない。コロナ禍の中で地域での行事や関わりが薄くなっている。 ボランティアの関わりがない。 その時（怒っている）の状態に合わせた柔軟な対応が出来なかった。自分に余裕がなかった。 個々の利用者の生活を細かく知ろうとしていないから。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
コロナが緩和されてきたため、地域行事に参加できるものは参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
-----	-----------------------------------

6. 連携・協働

メンバー	6 人
------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	4 人	2 人	1 人	11 人

前回の改善計画	
コロナ情勢もあり、外出は控えている。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
よくできている・なんとかできている：72.7% あまりできていない・ほとんどできていない：27.3%	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	1	8	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	10	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	3	2	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1			11	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自分の住んでいる地域や人々と関わろうと積極的に参加している。緩和されてきたので少しずつ外出をしている。 消防の方との消防訓練に参加出来ている。 各サービス関係機関の担当者会議や連携は取れている。ケアマネ会議には出来ている。 地域の祭りへの参加。体調管理は出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍のため必要以外の外出は控えている。他者や地域の関わりが無くなっている。 自主的な会議への参加。会議の参加の機会がない。積極的に参加をしようとしていないから。 夜勤専従の為交流の機会がない。 イベントが出来ていない為、事業所を訪れてもらえていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
コロナが緩和されてきたため少しずつ外出をしていく。(分散して)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
7. 運営	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	5 人	3 人	11 人

前回の改善計画	地域に必要とされる拠点とは？地域と協働した取り組みとはどういう事を指すのか職員や他事業所の意見を参考に見つけ出し実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	よくできている・なんとかできている：20% あまりできていない・ほとんどできていない：80%

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		5	5	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	7	1	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	4	5	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		3	4	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情などがあれば職員間で共有し、同じ事がないよう注意している。改善策を作成・共有している。ヒアリハットを提出するという意見を出している。 利用者家族からの声は申し送り等ですぐに共有している。 送迎等の意見はボードの作成時に意識している。法人独自のパンフレットや広報誌がある。 自分の意見を言えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者・家族・介護者らの苦情を運営に反映できていない。 地域との関わり。積極的に行っていないから。関わりとした所に出ていない。日々の業務が優先となってしまう為。コロナもありイベントが開催出来ていないから。 事業所のあり方について職員として意見を言えていない。機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小さなことでもヒヤリハットや支援経過にあげ、管理日誌にあげたことを記入し共有する。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	9 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	
リスクマネジメントに関しては ICT の活用や見守り機能を今後事業所に導入する事が検討されている。介護事故が起きる前に職員間で話し合う、環境を整える。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
よくできている・なんとかできている : 75% あまりできていない・ほとんどできていない : 25%	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	3	4	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	4	12
③	地域連絡会に参加していますか			3	11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	3	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アイトレポートでインシデントにあがっている事については事故にならないように対応している。 ヒヤリハットもあがるようになった。 部会への参加。研修やイベントの参加。部会でのアイトレポート報告を職員間で共有。話し合い、対応が出来ている。 申し送り等で共有されたことを理解・把握して行動している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会への参加。理解が出来ていない。 リモートでの研修は参加しているが、業務優先になっており余裕がない。 ヒヤリハットを出していない、出ていない。 業務を優先し、利用者の行動に目を配れず、ヒヤッとすることがある。業務に集中しすぎて周りを見れていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小さなことでもヒヤリハットで出すようにする。 見守りセンサー活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2025 年 1 月 28 日 (17 : 00～18 : 25)
-----	-----------------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	6 人
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
研修を行う等、ご利用者様の尊厳を守れる意識や業務の環境を整える。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
よくできている・なんとかできている：100% あまりできていない・ほとんどできていない：0%	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8	4			12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	7	5			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4		3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者側の視点に立って考えるように心掛けて行動している。意思を尊重し提案することを重んじている。 個人情報シュレッダーにかけている。必要な情報は特記事項にあげている。 個人ファイルは利用者の見えない所に保管している。事業所での決まりを守れている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
必要な方に後見人制度が活用されているか把握出来ていない。細かい情報を全て読み切れていない。 机の上に書類（管理日誌やチェック表）が置いてあるため、利用者が見ていることがある。職員がすぐに 記入できるようにしている為、どうしても机の上に置いておく必要がある。 ご家族の希望によりやむを得ずの身体拘束（車椅子でのベルト）をしている。ベルトを付ける、外す の記録をしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修を行う等、ご利用者様の尊厳を守れる意識や業務の環境を整える。	